

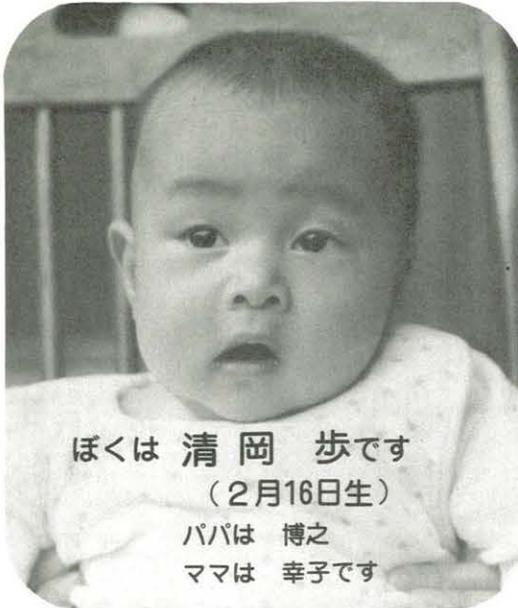
5月末の人口  
世帯数 六七八  
計 女 男 九四八人  
一八五三人 九〇五人



広報

うまこ

昭和54年7月1日発行  
第七八号  
編集 馬路村教育委員会  
発行 安芸印刷

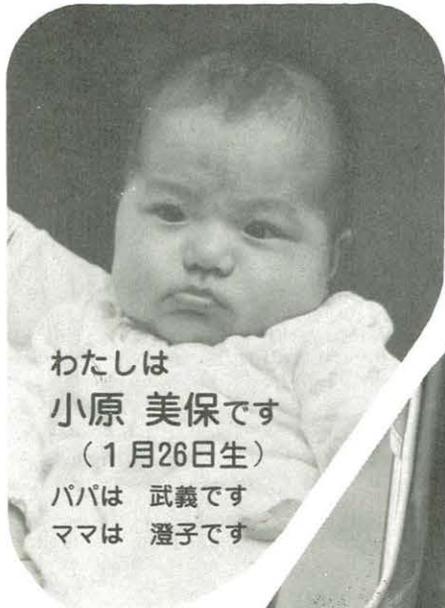


ほくは 清岡 歩です  
(2月16日生)  
パパは 博之  
ママは 幸子です



ほくは 井上 評太です  
(2月15日生)  
パパは 洸士郎 ママは 禮子です

どの子にも明るい未来としあわせを



わたしは  
小原 美保です  
(1月26日生)  
パパは 武義です  
ママは 澄子です



ほくは  
横佐古 直です  
(2月11日生)  
パパは 正  
ママは 園子です



ほくは 岩城 考慶です  
(2月22日生)  
パパは 立郎 ママは 未知子です

誰に似てるかな!

# 広 場

## ゆず 柚子の里

乾 千鶴

安芸市伊尾木

海岸を東西に走る国道55号線から安田川に沿って約20\*さかのぼると馬路村の役場につきます。こは村の中心部であつて一寸した山間の町になっております。中学校や小学校があつて旅館や店も沢山あります。日本三天美林の一つ魚梁瀬森林も馬路村の中にあるわけです。馬路村営林署があつて昭和三十八年迄森林鉄道を木材を一ぱい積んだトロッコを機関車が引つぱつて田野貯木場まで、日に何回も運搬してました。村の人々はこの機関車にひかれて走る客車を唯一の交通機関としていました。「ピー」というかん高い汽笛の音は山々に勇ましくこだまして活気にあふれていました。今年の三月、馬路営林署も魚梁瀬営林署に合併する事となり今では分署と云つた形でやつと、とどまるようになりました。馬路役場から本流を更に六\*逆登ると「土川」と云う小さい部落につきます。ここが私が生れ育つた本当の古里です。

昔は三軒の人家がありました。次第に減つて終戦後は半分になりました。周圀が官山につつまれ私達の娘の頃は沢山、山仕事があつて部落も栄えていました。柚、運材、後地植林、林道の修繕といった仕事で何十人もの人夫さんが、いせよく毎日働いており、村外の人も沢山働きに来ておりました。山の人の心は、たいへんあたたかく皆んな親兄弟親戚同様に心が通い合ひ何ごとも助け合つて生活しておりました。ところが官材が次々に切りつくされ、終戦後仕事が次第になくなり人々は職を求めてこの山里からいつともなく去つて行きました。私も戦後の農地問題のため「不在地主は土地をとられる」というので仕方なく現在の伊尾木に移りました。「當ててあつた土地の半分をやつとかえしてもらい」それから百姓一すじに生きて来ました。戦争で夫をなくした私は子供を育てるだけで、せいじつばいでした。苦勞しました。只無我無中でした。華やかなりし頃の「土川」も今や昔の夢、人声もめつたに聞く事もなく清流のせせらぎの音だけが風にとぎれて聞えて来ます。人かげもなく氏神様だけがひっそりと鎮座して居られます。私達の祖先が何代も何代もかかつて開拓したにちがいない段々畑を見るたびにたたとめもなく涙が

流れて来ます。時代の流れには、抗しがたく私も親の残してくれたこの地「土川」に馬路村の奨励もあつて、昭和四十五年柚子の苗を植える事としました。だいぶん内容が変りますが柚子の事を少し書いてみたいと思います。当時ゆずの苗は一本が百五十円、そのうち五十円を奨励金として村から出してくれました。キコクを台にして接木したものでした。私は初め五十本を買い植えましたがこの苗は寒さに弱いのか、ほとんど枯れてしまいました。四十七年北川村から実生苗を百本買って来て植え替えました。次の年から自分で種を蒔き「実生苗」をおこし三百本を植えました。私の家には祖父が植えたと言ふ柚子の古木が十本くらい残つて居ります。その木から毎年六七斗のゆずが取れて居ます。私の植えた四百本の柚子もかれこれ八年になります。成育の良いものはぼつぼつとなり始めました。月日のたつのは、本当に早いものです。昔の人は「桃栗三年柿八年、みかんはスイスイ十三年」と教えてくれたのに六年目に結実しています。楽しいものです。上に延び上らないように枝をひかえたり根元に肥料をやつたり消毒も時々せねばなりません。一昨年は当り年か面白い程になりました。こんな時苦勞もすつとんでしまひ何もかも楽しさでいっぱいになります。馬路村で

は、おとなりの北川村と同じように機械を購入して協同組合のもとに柚子に力を入れ次々と合理化して居ます。玉出しや、玉しほりも組合に出荷さえすれば、簡単に気安くしてくれまふ。今では軌道あとも車道にvariアスファルトを敷いた道が各部落に通じとても便利となりました。すべての指導は組合がやつて呉れ一糸みだれぬ団結で柚子の生産に力をそいでいます。九月頃から三ヶ月間は各部落の主婦連が出て柚子しほりに大わらわとなりまふ。柚子の皮の利用法も研究して居る様で将来柚子からの収入も次第に伸びて行く事と思ひます。柚子の花の咲く頃、手入れに行くとき花の香がたぐい、いい気持ちになります。ついうつとりと、ふらふら樹内を一人散歩、ハット仕事せねばならない我にかえる様な事があります。秋が来る

と私達がついて来て黄金色の柚子を見て歓声を上げ休みの日など一緒に一生懸命手伝つてくれる様になりました。柚子の取り入れ時は各家庭に持ち帰り庭も座敷も一ぱいになります。こんな時、駄作を一人口ずさんだりします。「ゆずの香の、しみたる指は洗はれず」「柚子の木に、薬をきかせかけ雪かこい」「ゆずの友、あかりが見えるよなべかな」伊尾木の自宅から「土川」の里まで、一時間あれば自動車で行ける様になりました。柚子の取り入れ時や、手入の時期には私は「土川」の我が家に帰り仕事に励みます。柚子の接穂の仕方でも教りました。一人丹精こめてのつききも又格別の楽しみです。私は「土川」へ行くと必ず氏神様にお参りします。「我が生れ故郷「土川」が柚子の里となりまふ様に」と一生懸命お願いします。「子孫のため 我は残さんゆずのさと」いつの間にやら六十六才、すつかりかっこうのおばあさんになってしまいました。でも土川の柚子の「実りの秋」をいつまでも見て行く事をとて私は楽しみにしています。昭和五十四年四月十三日

（安芸市老人クラブ 機関紙より転載）

## 募金の御札

世界の飢えた子どもたちに 私たちの一日分の オヤツ代を送りましょう

この運動の募金で、三万九千五百五拾六円集まりました。 どうもありがとうございました。さつそく、全国婦人団体連絡協議会へ、送金しました。 馬路婦人会

# 惜随春想

乾 寅江

自分で出来る事はなるべく自分で始末するこれが私の信条とも言うのか又習性とも言えるのか、私は五月晴れの日、塵焼きを思い立ち川原へ降りて行った。段々の野菜畑の片隅に腰をおろして立昇る炎の色を見詰めて居た。木の葉のざわめきや本心に心の奥までしみ渡る様に、又、緑に染まる様な涼風の中で春光に照らされ立上る炎の色は、その光に溶け込む様に淡くいかにもはかなげだった。

でも一度目を転ずれば雲一点なき五月晴れの空はあくまで青く心の隅々までしみ渡る様なみずみずしさだった。青空に続く彼岸は緑におおわれその中を色彩する紅白の花は何か哀しささえ覚える程の美しさだった。藤浪の紫の色は見えなかったけれど赤白緑の単純な彩色は返って強く胸に迫る物があつた。中学校々庭に乱れ咲く白い花は、ピラカンサの花であろうか、やがて赤い実となって岩壁を色どる事であろう。

うっとり眺めていた私が川辺の葎の葉すれや安田川のせせらぎに我に振り返り周囲を見廻せば伸び切ったイタドリの上を吹き渡る

風に誘われて真白い蝶々が飛んで居た。浅瀬を渡るセキレイの尾のリズミカルな動きや水泡となつて、そそぐ小さな谷の流れいつまでもあくことなき晩春の風景であつた。数々の夢を操り広げた梅の花の華やかさは無くとも葉桜の繁みにはまたおちついた涼風のワルツがあつた。今、村は大変な時であるけれども此の美しい風光と共に、村民一致してなりふりかまわず努力すべき事だと思つて居る。病弱でもそれだけに尚更故里を思い、愛する心は人一倍激しい物がある。

先日私はテレビで二年程前、酒田市で大火があり、現在見事に復興したニュースを聞いた。無論多くの人々の助力はあつてもその温情に励まされて、おきあがつた市民の方々の並々ならぬ努力があつた事と思はれる。いずれにしても胸にじんときる温かいニュースであつた。ともあれ美しい風景の展開と共に私に心洗われるニュースや思い出を連想させてくれた五月の風はとても柔らかく楽しい物があつた。

さようなら五月の風よ、あの限りなき山脈を越えて行くのか。思い出は今日もはるかに馳せ行きなつかしき故郷の野辺に吹き渡る。此の新風に夢多かれと。春今宵心の憂さを晴らせよと

花吹雪うすく袖を払えり。  
あかつきに目覚めて仰ぐ空の星  
吾子の瞳か青葉匂いぬ。

生ある限り耐えてぞ行かん故里の  
野辺に春風追い求めつつ。  
昭和五十四年五月二十七日

第22回

## 金婚夫婦祝福式典

申し込み要項と式典

(資格) 昭和五年一月一日から  
同年十二月三十一日までに婚姻届を出している高知県在住のご夫婦  
(それ以前の方はどうぞ)

(方法) 夫婦の戸籍抄本のほか、  
別紙に現住所、氏名(ふりがな)

後二時 (会場) 安芸市市民会館

\*申し込みは、7月10日まで

年令、職業、電話番号を明記し、  
高知市本町三丁目二一五・高新  
企業事業部「金婚夫婦祝福係」あ  
て送るか持参して下さい。

(締め切り) 七月十日必着  
(式典日時) 九月一日(土) 午

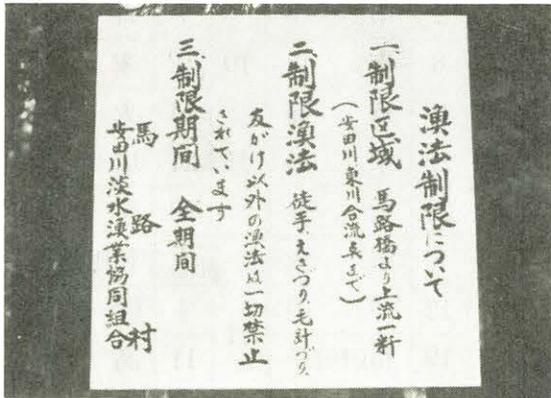
ほか五会場

(行事内容) 金婚式典を行い、  
ますますの長寿を祈るとともに、  
祝辞を各方面からいただき、記念  
長寿杯をはじめ、お祝いの品を贈  
り祝福します。

主催 高知新聞社  
高知新聞社福祉事業団  
RKC 高知放送

## 皆さん 知っていますか?

これは馬路村より、コミュニティセンターの設置により村民はもとより、村外の方にも「漁」を楽しんでいた  
たくために一部の区間を、漁法制限したものです。  
皆様の御協力をお願い致します。



漁法について

## 村より 補助金制度のお知らせ

村では個人の農道・水路・私道等について、改良工事を行う場合は、補助対象経費三十万円(限度額)の60%を、村が補助する制度を設けました。予算額は六百万円です。  
申し込み、問い合わせは、役場産建課迄どうぞ

# 教育の窓



## 勤労を喜ぶ子供を

めざして

馬路中学校

去る6月3日付の高新にも紹介されましたが、馬路中学校では、「土に親しみ、働く喜びを知ろう」と近くの休耕田六・五アールを借りうけて、全校生徒が約三時間『学校農園』作りに汗を流した。

最近馬路村でも子供たちは、勉強やクラブ活動に追われ、又、親も子供には、勉強さえしてくれればの風潮もあり、『農作業など』から遠ざかりつつあります。

当日は、なれない手付きで畝作りから始まり、肥料まき、種まきと行ない、キュウリ、エグマメ、スイカなど10種類近くの種をまきました。生徒の中には、『くわ』を持つのが初めてという子もいて、指導の先生方も大わらわで、『まじめにやらん者には、食べさせんぞ』の『脅』の声もある中で、なかなかにも真剣なムードの野外学習風景がみられた。

子供達も最後は、『おおの、だれた』の声も聞かれるなか、自分達の農園の完成を喜んでいました。今後は見廻り当番や各学年ごと

に栽培日誌もつける計画で、収穫も早ければ八月末にも出来そうである。その時はきつと、今日の苦勞が楽しい思い出になりますよ」と、松本校長は話していました。



▶学校農園作業風景(六月一日)

＝54年度後期＝

### 日曜祝祭日当番医表

午前9時～午後5時

月	日	当番医名	月	日	当番医名
7月	1	山中	10月	7	斉藤
	8	市川		10(祝)	末延
	15	斉藤		14	大谷
	22	末延		21	広末
8月	29	犬谷	11月	28	平岡
	5	広末		3(祝)	和田信子
	12	平岡		4	国沢
	19	和田信子		11	高松
9月	26	国沢	12月	18	宮田
	2	高松		23(祝)	山本
	9	宮田		25	浜宇津
	15(祝)	山本		2	和田建夫
10月	16	浜宇津	12月	9	山中
	23(祝)	和田建夫		16	市川
	24(代)	山中		23	斉藤
	30	市川		30	末延

## 高知県へき地教育研究集会

11月に

魚梁瀬小中学校

来る、十一月十二日(月)、魚梁瀬小中学校を会場に、「高知県へき地教育研究大会」が行われます。又それと同時に、中学校は県教委指定一般実験学校としての研究実践発表が持たれます。

約二〇〇人くらいの先生方が魚梁瀬の地に県下各地から参集することが予想されます。

一般実験学校として、魚梁瀬中学校の取り上げているテーマは、「自ら探研する子どもを育てる学習指導」ということです。言い変えると、自分から問題点をみつけ、自分から解決していく力を身につける

た生徒に育てたいということです。これから益々複雑になる情報化社会で、それ等の情報を色別し、かみ分け、押し流されない力を身につけるためにも、又、親許を離れて、高校生活を送る子ども達にとつて是非必要なことと思われま

す。そして小学校部会でも、へき地で勤務する先生方が多い中で、素直でおとなしい子ども達、裏返

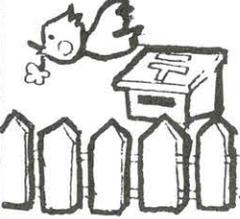
えすと、自主性の乏しい消極的なへき地の児童の共通性に対して、いかに先生方がメスを入れ、日常実践を行っているか、更に積み上げていくかが話題の中心になって

くると思われます。地域ぐるみで温かく迎え、大会を成功させることが出来れば、そのこと自体が、子ども達の教育にとって大きなプラスになることと思

います。お知らせと同時に、みなさんの御支援と御協力を是非お願いいたします。なお、この大会についての御質問や大会を成功させるための建設的な御意見等がございましたら教育委員会が魚梁瀬小学校、中学校の方へどしどしお寄せ下さい。

私わたしの一歩は みんなの一歩・・・だから大いにしたいわたしの一歩☆☆

▶馬小6年学級通信より



—No. 13. 馬小6—

—1979. 6. 9. (土)—

# あの 青い空のように



きれいに  
なったね  
ぼくらの  
わたしの  
村

昨日、6月8日(金)の午後から今年度になって初めてのチリ拾いをしました。梅雨入り(宣言)の中、お天気もどうやら回復。子供たちは、はりきって出かけたのですが...

**★日記——橋本和典**  
6月8日(金) 橋本和典

今日は、前の6年からやっているチリ拾いだ。天気が心配だったけれど、なんとかやれた。僕たちの班は、日浦のちり拾いだ。前やったよりはだいぶ少なかった。前は、一時間三十分ぐらい拾って一つの班、十ふくぐらいはあ、たけれど、今度は一つの班、五ふくから三ふくぐらいしかなか、にみた。だ、いぶきれいになつたはずだ。

こんなにきれいになるなら、すつとづけていきたい。

**★ちり拾いのこと** 6月8日(金) 橋本和典

……中略……

わたしが気がついたことは、前よりチリが少なくなっていることだ。わたしは「みんな気を付けているみたいだ」と思いました。チリがきれいな馬路村にしたいです。

**この前より少ないなあ** チリ

か心配されたが、なんとかできた。

## きれいにしよう! 全校ちりひろい

馬路小学校

去る六月七日(木)に全校ちりひろいが実施されました。

昨日やると児童会で計画していたが、雨のため今日することになったのです。

この行事について、田村校長は、これは、前の年の卒業生が最後の思い出にと、ある日曜日に父母といっしょに、馬路地区全部の「ちりひろい」を実施したところ、あまりにも「ちり」が多く、児童会に提案、呼びかけて始めたもので、去る三月に全校で一回実施したもので、本年度は児童会の提案で、学校行事に取り入れて、定期的に実施する計画です。で、人員の割りふりは児童会で行なっていると話しています。



くするよう努力しましたことだと思ふ。そのことだけでもうれしいことです。今度からもいっそう美しい馬路村にしたいです。

### ちりひろい

児童会長

丸山和伯

六月八日(金)、今日は天気が悪く、チリひろいができるかどうかどう

チリの量を見ると三月よりも少なかったが、まだまだ多すぎます。だけれど、前より少な



＝こんなにちりが＝

# 道標

=32=

## 部落問題と 国民的課題

◇ 部落差別をなくする仕事(部落解放)は直接すべての国民の生活を高めることにつながっています。

高岡郡のある村では、同和地区の道路が一番さきに舗装されました。そしてそのことが出発点になって村内の道路が次々と舗装され、今では村内のほとんどの道路が完全に舗装されています。部落差別のために、長い期間放置せられ、一番悪い条件におかれていた同和地区の生活環境を、まず改善していったことが、他の地区の人々の生活に対する考え方を目覚めさせ、村内すべての生活条件を高めてゆくことに発展していったわけです。またある同和地区では、飲み水にもこと欠く状態であったため、村に要求して簡易水道を設置しました。一方、村では、同和地区への簡易水道設置を出発点として、本格的な水道事業を完了しました。谷川の水をせきとめて家々に給水していたこの簡易水道は、雨が少ないときには、朝・晩はチョロチョロとしか水が出ないような状態、やはり人びとの生活をおびやかす、時にはミミズなども混じっているような非衛生的な水道でした。「これでは問題を根本的に

解決する対策になっていないではないか、部落外の二十四時間完全給水できる本格的な水道施設にくらべ、ひどい差別行政ではないか」と村行政に対する運動がおこりました。その結果、村の水道管に地区の水道をつなぐことによって村全体にきれいな水が豊かに給水されだしました。人間の生活条件には欠かせない水。個人の井戸をもつことができず憲法で保障されているはずの「健康で文化的な最低限度の生活」をする権利を衛生面からいじめるしく侵されていたこの差別の実態からの要求が、簡易水道という具体的な形をとって、地区の人々の生活を保障しました。そして、このことが出発点となって、村内全部の人々の健康を保障することとなり全村民の奪われていた生活権をとりもどすことになり、生活水準の向上に役立ったわけです。またある地区では、ちりのしまつに困りぬいていました。農村でありながら不要物を焼くだけの空間、埋めてしまえるだけの土地を持ちあわせていなかったわけですから、その中で困りぬいた地区の人びとは行政当局に、この実情を訴え、村では「同和对策事業」によって、

同和地区のちりを集めて焼く設備を作るようになりました。ところが、他の地区や団地の人々も、同和地区の人々と同じように、ちりのしまつにこまっております、その人々の切実な問題となっていたのです。そこで村は、さきの同和对策事業の規模を拡大して全村のちりの処理ができるものをつくりました。

このようにして、部落差別によって、一番悪い条件におかれている同和地区の人々の切実な生活の要求が、つぎには村や町全体の要求と変わり、その要求を行政当局が取りあげてゆくことによって、全体の生活条件が高められていっているわけです。

同和地区の生活環境を改善するために、現在は特別措置法も制定せられて、いわゆる「同和地区改善事業」が着々と進められています。このことは、ただ同和地区がよくなるということではなくて、それがもととなって、

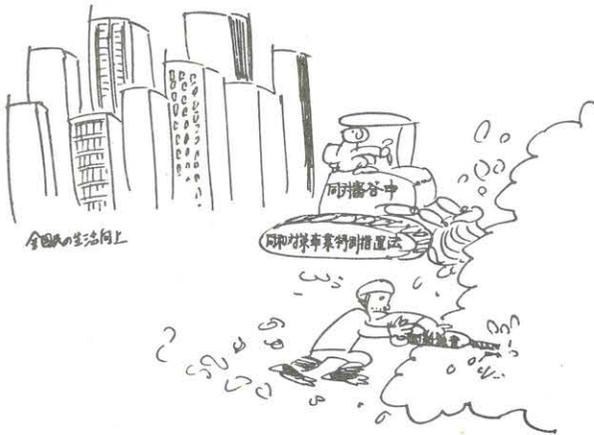
すべての人々の生活環境がととのえられてゆくことになるわけですから、同和地区の生活条件が向上してゆくことは、ただ同和地区が解放されてその人々が幸福になるのみではなくて、他の地区の生活条件も整えられてゆくことであり、すべての国民の生活を健康で豊かなものに向上させてゆくことになるわけです。これはある市での話ですが、その市内の同和地区をもつ中学校にはプールができていませんでした。プールを建設するときには、地元やPTAが一部負担しなければならぬというこ

とが、半ば制度のようになっていたからですが、このことは「義務教育は無償とする」という憲法の精神に反するというので、その中学校では、父兄や地域の人々の要求を結果して、地元負担なしでプールの建設を行なうことを認めさせたのでした。ところが、時を同じくして、プールの建設を計画していた地区を持たない他の中学校でも、地元負担なしでプールが建設されることとなり、関係者は「肩の荷がおりた」と喜んだということでした。

昭和三十六年に、高知市長浜を中心として起った「教科書無償」の運動も、そのころには、同和地区に対する予断と偏見からさまざまな批判や中傷がありました。同和地区の人々の生活に根ざした正しい権利要求は、ついに政府・国会を動かして、今では全国のすべての小・中学校の子どもに対して「義務教育無償」の憲法のきまりにそって、教科書は無償で配布されています。

この二つの例は、解放を願う同和地区の人々の基本的な人権を確立する願いは、権利回復の要求となり、そのことは、すべての国民の基本的な人権の確立へ発展し憲法の精神を実現する運動となって国民の生活を守ることに連なっていることを示しています。

部落差別が現代に生きている一



つの例としての就職差別のことは先にものべてありますが、部落差別による就職差別をなくして、よくことすなわち部落解放は、同時にすべての国民の職業選択の自由を保障することになっています。現在学校では、就職差別をなくするために「進路を保障する」取組みが積極的に進められており、すべての子どもにも学力をつける努力や進路指導の徹底、奨学制度の充実願書、身上調査の改善・統一などが取上げられています。これらのことは、ただ同和地区の子どものみでなく、母子家庭・身体障害者経済的理由などの、直接本人の責任でない、理由によって、希望する会社に就職できなかったり、進学できなかつたりするすべての子

どもの進路を保障することになっているのです。また差別事件がもととなって、その会社の規則が改められ、採用についての不当な制度がなくなつて、広く門戸が開かれたという例もあります。部落差別をなくすること、そのための運動を進めてゆくことは、このように、ただ同和地区の人々の基本的な権利が守られ、同和地区の人々が幸福になるのみでなく、かならず、同和地区以外のすべての人々の基本的な権利の保障につながっているわけです。すなわち、部落問題は、すべての国民の権利や生活の問題であるわけです。

### 村職員人事移動

七月一日付

産建課主事 山中 隆 (総務課)  
 産建課主事補 甫木 康徳 (総務課)  
 出納室主事 清岡 幸子 (総務課)  
 総務課主事 岩城 勝則 (産建課)  
 上治 香野 (産建課)  
 (出納室)



総務課主事補 小松 寿史 (教育委員会)  
 公民館主事補 下田 博之 (住民課)  
 産建課水道係 伊場 信雄 (住民課)  
 (一)は前所属

## 伝説散歩

### 今次ばなし

明治の初ごろ、馬路の土川に今次さんというて、話上手のとつぽこきがおった。みんなから、今庚申と呼ばれよつたそうなの。

今庚申のわけは、話は庚申の晩にせえという言葉があるところから来たらしい。

わしの親父が若いころ、柚にいて仕事をしよつたところが、雨が降つてきた。ほんで仕事が休みになつて山小屋でゴロゴロしよつたが、退屈でたまらん。そこで仲間と、今おじいの家が近いき、ひとつ行つて、太いこというて煙にまいちやろいうことになつた。そうして、みんなで出かけていた。

「今おじいよ、おまん、たいちや太いことをいうが、支那には万里の長城いうて大きな城があるつが、聞いたことはあるか」  
 こういうて、わしんくの親父がきくと、今おじい  
 「丑よ(親父の名前)、そりや長さか、高きかや」  
 いうた。

ある男が、今おじいの所へやつてきて  
 「おじいよ、煙草の味がよくなる方法はないかのう」と聞いた。この男が密栽培をやりよつたことを知つちよつた今おじい  
 「そりやのう、朝露に葉をとつて、四、五枚を重ねちよいて、むしろにしいて、四、五日したら出したらえい。まっ黄色な色がついて味がよくなる」と教えたそうなの。  
 こりやえいことを聞いたと男は喜んでためしてみた。  
 ところがいくもんか、煙草はつかいもんにならざつたき、さつそく男は今おじいのところへ飛んでいつて  
 「今おじいよ、おら、おまんにこじやんとやられた。おまんのいうとおりにしたら、葉はいかんもんなつたぜよ」  
 いうてりぐると、今おじい、澄ました顔で  
 「おつとろし、ほんならおらも欺されちよつた

のう、わしやそういう話を聞いてきて、受けついでまでのことよ」と、いうたそうなの。  
 「芸西伝説散歩」  
 (市川麟一郎著)

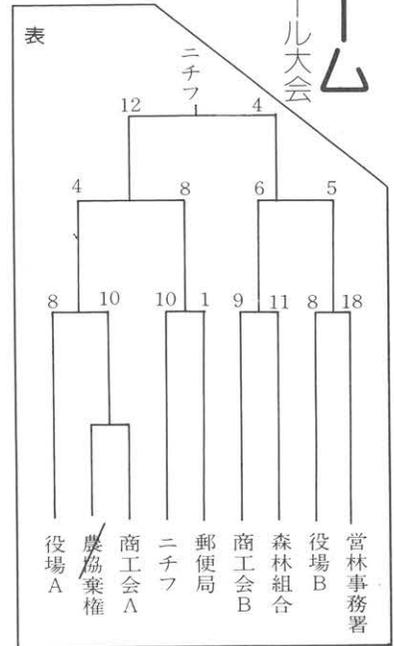
より



# 優勝ニチフチーム

馬路地区職域ソフトボール大会

去る四月二十一日(土)午後一時から馬路村民運動場で、8チーム参加のもと開催されました。当日は晴天に恵まれて、A・B 2コートに分かれて熱戦が繰りひろげられまし、若さに恵まれたニチフチームが優勝しました。結果は下表通りです。

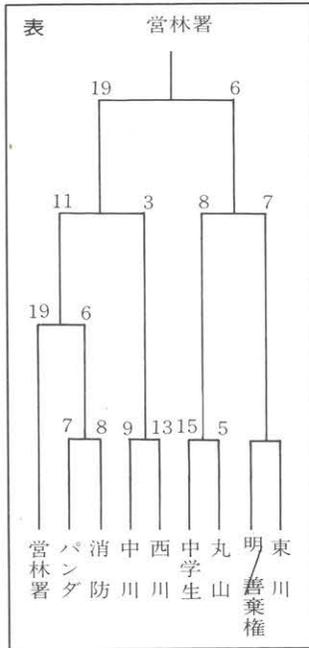


# 優勝営林署チーム

魚梁瀬地区春季ソフトボール大会

恒例のソフトボール大会が、ナイターで五月二十八日から三十一日までの四日間、八チーム参加で開催されました。結果的には、若かえった営林署チームの圧勝に終りました。随所に診プレーの続出で観客を楽しませてました。

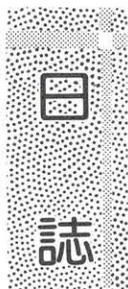
又、中学生も一般にまじって、日頃の練習成果を十分に発揮して惜しくも準優勝となりました。今回惜しくも敗れたチームも、秋期大会に向けて再度の奮起を期待します。結果は左表の通りです。



皆んなで加入しよう。  
スポーツ安全障害保険

1人 680円

馬路体育会  
魚梁瀬体育会



- III 4月 III
  - 28日 || 昭和五十四年度第三回馬路村議会(臨時会)
- III 5月 III
  - 6日 || 公民館結婚式(畠中惇夫・岡村瑯子さん)
  - 11日~20日 || 春の交通安全運動
  - 26日 || 稚鮎放流(村単位100kg)
- III 6月 III
  - 10日 || 村内一斉清掃

# 優勝ママさんA

魚梁瀬春季バレーボール大会

去る六月五日、六日の両日魚梁瀬体育館に四チーム参加のもと開催されました。

竹崎先生といった補強選手を入れましたが、善戦むなく最下位となりました。

参加チーム別にみると、優勝した「ママさんA」と三位の「ママさんB」は、ジャンケンによって

民主的にチームを編成し、日頃から家庭の理解を得て、練習にはげみ、その成果をいかなく発起しました。

おしくも準優勝となった中学生チームも、一般にまじってよく健闘しました。四位の教員チームは順当で、女子のチームに川谷校長

結果は次のとおりです。(2セット、得失点による)

優勝 ママさんA 三勝  
準優勝 中学生 二勝一敗  
三位 ママさんB 一勝二敗  
四位 教員 三敗

尚本体会は従来より、女子だけの「六人制」で実施もっと多くの方の参加を、お待ちしております。

## ご出産おめでとunggざいます

氏名	母	赤ちゃん	続柄	月日	部落
井上 洸士郎	禮子	評太	男	2・15	魚梁瀬
清岡 博之	幸子	歩	長男	2・16	相名
小原 俊満	政子	満由美	3・女	4・10	魚梁瀬
小原 保弘	美代	めぐみ	長男	5・28	魚梁瀬

## ごめい福をお祈りします

氏名	性別	行事	亡月日	世帯主	続柄	部落
北川 米井	女	80	2・22	本人	本人	魚梁瀬
上南木 累次	男	80	5・31	本人	本人	日浦
式部 初子	女	40	6・4	秀雄	妻	東川

# 営農情報

## 水稻

適切な水管理によつて根の老化を防ぎ適期に穂肥を

普通期水稻（五月下旬～六月移植）は分けつ盛期をむかえ七月下旬頃には幼穂分化期に入ります。今までの栄養成長から穂の形成へと体質転換の行なわれる時期であり、根に十分なサンソを補給し、チツソを切れるような水管理が大切です。そこで有効分けつ期以後徐々に間断かんがいに入り、幼穂形成期頃まで中干しを行ない、無効分けつの発生と根の老化防止に努めましょう。中干しの程度は土質に応じて砂質田では干し過ぎて根の老化を早めぬように、又粘質土壌田では、ひびの入る程度まで十分に干すことがポイントです。中干しが終わると出穂前二十日頃（七月二十五日～三十日頃）穂肥を施し、出穂期前後を除いて落水期まで間断かんがいを続けます。穂肥の、出穂前三十日頃の施用は、下位節間の伸長を促し、倒伏を助長し、穂実が悪くなりますので、幼穂の分化程度を観察し、必ず適期に施用することが大切です。

## 出穂期前後の病害

### 虫の防除について

中生穂では七月中にイモチの防除を行ないましょう。イモチについては、穂首、穂、枝穂イモチ、いずれも収量に大きく影響します。出穂前七日をメドに使用して下さい。又紋枯病も収量に大きく影響します。紋枯病は梅雨明け後、多湿条件下で発生した苗が増殖まん延する恐れがありますので、七月中旬～八月にかけて薬剤効果の長いネオアソジン粉剤で防除して下さい。出穂後は、ウンカによる坪枯れ、カメムシ類による斑点米が問題になります。特にウンカは早期発見が困難ですが、発生をみたらその都度早めにバタンバツサ、ツマバリダジン粉剤等で防除して下さい。

## ゆづの7月8月の作業について

七月から八月の防除は、ダニ類ハモグリガ（エカキ虫）、こくてん病が主体となります。こくてん病とダニの同時防除の場合は、ダイファートとケルセンの混用散布ができます。ハモグリガはアツパー水和剤で発生の初期に重点的に防除すれば効果が高くなります。又、七月中旬ごろまでは、そうか病の発生が予想されますので、そうか病の病原菌を持った木が多い園は

ベンレートでの防除が必要です。柚子園を回っていると枯枝が多く目につく園がありますが、こくてん病は、他の病害と違って園内に枯枝がある限り、いかに効果のある農業を散布しても完全な防除は不可能です。誘引も大事ですが枯枝撤去のような細かい作業も必ず行って下さい。

施肥については樹令により施肥の時期、量とも違ってきますので農協より配布した防除暦を良く読み適期に適量を施して下さい。※毎日の作業の後には暦、又は日記帳に消毒の日や農薬名などを記録して来年の参考にしましょう。

## 小規模治山事業について

村では、昭和五十四年度から村単独の新しい事業（当初予算五百万円）として村民の皆様方の山を守るため、小規模治山事業に対し補助金を出す事になりました。

この事業は、間材伐を利用してその山の崩壊を止めるための事業で補助対象経費は7ヶ所、三十万円（限度額）で、村補助金80%、受益者負担金20%となっています。申し込み、工事施行については森林組合に詳しい事は、役場産建課までお問い合わせ下さい。

## 森林総合整備事業のあらまし

### (一) 下刈り

八年生までの雑草木つる等の刈払

### (二) 除伐

下刈り終了後（一～二年おいて）造林木の枝葉に雑木等が密生し生育のじやまになってきたとき第一回の除伐を行う、第二回は又二～三年後行う、この期間はおおむね九～十五年生位迄の間

### (三) 保育間伐（除間伐）

保育形成のなかにおいて、普通の除伐が終わってから、林が閉鎖し立木相互の過密競争が激しくなつて優劣の差が生じてきて暗くなった林内に適度の空間をあたえるため曲木、又木病虫害木等の不良木を一割以上二割程度間伐するもの。この期間はおおむね十五～二十五年生迄

以上のいづれの作業も一箇所ずつ十アール（一反歩）以上行なつた場合、馬路村は森林施業団地共同計画という制度の認定を受けて居るので、今回の森林総合整備事業が摘要され補助対象となりますので、詳しくは森林組合でお尋ね下さい。

尚、四月二十三日付で、書記谷井憲夫（二十二歳）を採用しました。今後共よろしく願ひ致します。

馬路森林組合



### 議案大より

## 研修視察報告

日程第一 愛媛県大山市（明治村博物館）

日程第二 静岡県磐田郡竜山村（竜山村森林組合）

研修視察者 議長 尾谷利春、議員 浜田守人、岡野利幸、清岡義行、尾谷明男、尾谷康喜、清岡寿幸、清岡長幸、高橋弥之助、国広富香、議会議務局長、村長、助役、総務課長

去る四月十六日～十九日三泊四日

の日程で県外先進地の研修視察を行ったので、概要報告致します。

研修視察目的「将来本村の立地、自然環境が生かされる、類似先進地の産業（林業、観光事業等の）研修視察により、将来の村発展策を模索し、営林署統廃合を契機として今後本村の立地条件を生かした産業振興、観光開発に独自の創造性を生かし、村発展策を講ずるを目的として、研修視察を行った。

「日程第一、明治村博物館について。」

愛知県大山市の郊外に、昭和三十一年に財団法人が組織され、名古屋鉄道株式会社が大なる土地と多額の資金を提供し、文明開花の明治時代をしのぶ明治建築を野外に

展示する、建物博物館として、昭和四十年三月発足され、年々視察観光者が増加の一途を辿っている。主要な建物としては重要文化財に指定されている、明治十二年に建築された、三重県庁舎を初め鉄道局新橋工場、西郷従道邸、品川燈台、明治六年建築の歩兵第六連隊兵舎、前橋監獄雑居房等、五十有

余の明治時代の有名な建物が約一〇〇万㎡の土地に移築保存され、明治の愛惜を誘うと共に学術的関心と呼んでいる。又村内には明治二十八年創業で、昭和三十六年迄続いた日本最古の京都市電がチンドンと文明開花の無邪気な音をは

## 研修視察報告

ずませて、村内を走っている。又電車と併行して蒸気機関車も昔ながら汽笛一声それぞれ乗客満員で運行されるいたのが特に印象深かった。ただ残念なのは外観建物だけで、内容資料の蒐集展示が乏しいことである。僅か二時間の視察ではあったが、感銘を深め将来本村の観光開発の上で、参考になる点が多かった。

「日程第二、竜山森林組合について。」

本村に類似の村で特に林業立村的な先進地を県にご教示を願った処即座に竜山村森林組合を照会し戴いたので、明治村から東京経

路の範囲であり、視察先に決定した。

（過疎対策と山村生活を支える竜山森林組合の姿について。）

ダムと森林の村、静岡県竜山村は浜松市から天流川ぞいに約四〇km上流に位置しみごとな竜山森林に囲まれた緑一色の山村で人口二、三〇〇人余の村だが、林業先進地として年間二、〇〇〇人以上の林業視察者が来訪されている。

竜山村森林組合が別表事業一覧表の通り各種の事業を興し、いわば地域の資本源となつて、地元雇用の促進、所得機会をつくり出し、過疎山村の生活を支える同組合の

ユニークな運営は、竜山人民公社的な運営と言つても過言でないと思う。高度経済成長時代山村の若者は、都市へ流出し、連帯意識感に支えられた山村社会も徐々に崩れ、地域の生活機能に支障が生ずる恐れができた。こうした大きな流れに抗して、昭和三十七年に青山宏氏が組合長となり山村を見直そうと言う運動に取組み種々の施策がとられ、大きな成果が現われた。地域づくりは林業の合理化し

かないそして過疎化、人口流出の防止策は、堰堤をつくれれば良いと明言され堰堤とは何か？竜山には林業しかない、それなら林業を核

にして地域住民に雇用の場を提供し、所得の増大を図ることだ。青山組合長を中心に林業振興と過疎対策が手がけられたのは、昭和三十七年からでありそれまでは、個々山林所得者、並びに木材業者に雇われていた林業労働者を、組合が結集し労働班を編成人材確保が図られた折、国の林業構造改善事業の政策に便乗し、林業基盤（林道近代化施設（機械装備）が進められると共に次々に新しい事業を起した。木材の付加価値を高めるため、小経木加工場、住宅建築加工場、造園業へ進出し、婦人の職場に編物工場も設置されている。山村に住民をつなぎ止めておくためには、仕事があつても賃金が悪く、収入が少ないようでは駄目だ。そのため木材を最大限度生かすと共に、地域資源を生かす施策を講じ、初期の目的の堰堤は着々と積み上げられ、ここ数年人口はストップ状態にある。森林組合中心の多角的各種事業により、働く場所が増大された事である。森林組合労働勤務所得も村全体の六〇％強を示している。組合長の基本理念は平等公平の理念と良き人間関係である。

組合の事務職員の呼称も労働者と同様、従業員と呼称し、組合長から、作業労働者に到る迄同じ作業服、賃金も平等公平の原則がとられすべて、日給制である。賃金

は、各従業員が自己評価し、労働班会議、管理職査定に基づき、全体討議が行われ一年間の賃金ベースが決められている。賃金評定規準は、心、技、体で採点されている。又関連企業並びに、商工会等とも連携を保ち、共存の理念で良く話し合が行われている。

昭和五十三年、五十四年に涉り各々新卒者一〇名の従業員募集を行ったところ、本年度は大学卒（短大卒含む）七名、高校卒三名の応募があつた。入組者は先づ特別指導班として造林班へ配置され、仕事を体で覚えさせ、造林を育てる事が林業の基本理念である。此の様に、将来の竜山林業を背負う若人を育てている。

仕事に真剣に取り組んでいれば、色々秀れたアイデアが生みだされる。最近従業員が発案したキャンプハウス（写真）が予想外に好評でこの量産化が進められているが、このすばらしいアイデアを考案した従業員に賞として、ヨーロッパ旅行及び賃金のアップもしている。特に大学教授並びに学識者の助言指導及び図書等の力を借り、従業員のアイデア等総合的に取り入れ良き方策はすぐ実行に移す積極性である。

当地区には水田は皆無で林業以外の産業としては、茶、茗荷、最近シキビ栽培が行われている。組合直営栽培でなく農家へ栽培を奨

勵し、組合が販売委託を行つていて、反当約一〇〇万円の高収益を上げてゐる。又花木センターも設置され、愛好家で栽培グループが組織され、山の産物はすべて現金収入の途が図られる方策がとられ地区住民の活気ある生産意欲の姿勢がうかがわれた。

僅か二時間と言う短時間の研修視察であつたが、さすが全国一の森林組合であり地区住民と森林組合が不利一体で山村を守る姿勢に特に感銘を深くした。今後本村の産業振興策樹立推進の上で参考になる点が多かつた。

以上竜山森林組合の視察大要を記述し組合の経営概要は別表組合現業一覧表を参照されたい。

一行事故なく元気で視察を終えて悪天候で最悪飛行を心配したが一路空路で無事帰途、極めて短時間の強行軍の研修視察であつたが一行十四名は視察の成果をそれぞれ胸にひめ今後村の発展、産業振興策に寄与出来る有意義な研修視察であつたと確信する。

議員の視察感想文で補足して頂き、総括報告を終る。

## 議員感想文

清岡 寿幸

入鹿池のほとり、雑木林の中に点在する明治の建築物、それが周

囲の自然にとけ込み、日本の建築文化が「静」の境地から発展して来た事を深く感じさせられた事でも日本の建築文化に華を咲かせた

工人達の努力に頭の下る思いがすると共に、各時代の建築は歴史の証言者として言われるが、贅をつくした明治天皇の御料車を見て思いを新たにした事は天皇制軍国主義によつて戦争に追いやられた大きな犠牲をうけた事、平和の貴重さでした。馬路村は緑の村整備事業等いろいろな事業を進めなければなりません、周囲の環境に合った建物を考える事が大切ではないかと痛感した事でした。

竜山村森林組合の経営は確かに素晴らしいものがある、然しそれを即画的に本村の組合経営に適用する事は無理があり大きな教訓としてうけ止め、本村の諸条件を考え創造的に適用してゆくならば、馬路の組合経営は飛躍的に発展すると考えられる。殊に痛感した点は、職員、労働者それぞれ職分を重んじる内で平等に処遇している点、賃金決定が組合員、従業員等の代表による合議制で行われている点などでした。竜山村森林組合を参考として一挙に改善する事は無理としても徐々に改善を求めてゆく事は、青山宏組合長の「過疎村の過疎対策につながるもの」と考

え、心を新たにしたものです。

## 高橋 弥之助

研修の目的は、立地条件を生かした先進地の産業開発等の状況を見聞し、それを本村の地場産業の中へ、独自の創造性をもつて活用し、本村発展に役立てる事を目的として、四月十六日、午前六時五十分、馬路村を發し、視察地、静岡県磐田郡竜山村へと向いました。

### (一) 竜山村の地勢

竜山村は、静岡県の北西部にあつて、その広さは、東西一〇km、南北一五・五km、面積七〇・七三<sup>二</sup>㎡である。東は、周智郡春野町。南は、天竜市。西および北は、佐久間町に接しており、そのほとんどが山岳地帯である。

地形は、東西に狭く、南北に長く、村のほぼ中央を北から南に流れる天竜川をはさんで、不整な三角形をなしている。

地勢は急峻で、数多くの山岳が起伏しており、したがつて水系が各所に数多くみられる当村は、古生層地盤に基づく、結晶岩系の土壌である為に、森林が繁茂するには、最適は土壌であり、気温はおおむね温和で、変化がゆるやかであるそうである。

### (二) 竜山村森林組合の概要

当村は、昭和四十年には森林構造改善事業、さらに、昭和四十四年度には山林振興事業の指定を

受け、産業基盤及び生活環境の整備が図られている。

産業の中心をなす農林業の交錯した振興を図っているが、他方人口の流出による過疎化が進んでいる。このなかにおいて、多目的な機能を備えた総合センターを建設し、これと並行して、村の恵まれた自然環境を活用した観光開発、並に青少年旅行村等を中心とした、健全なレクリエーション施設の整備を図ることにより、産業の振興と、住民生活の安定を一体とした多面的な施策を推進し、魅力ある村造りの建設をめざしている。

### (三) 除間伐材対策として、小径木加工工場の設置について

住宅の生産販売部門を造り、製材機であるとか、プレカット加工の為に、機械や施設を組合で備えるのは、造園用や土木工用、また大きい需要口として、ゴルフ場の建設などに使われる杭を造るのであつて、ごく簡単な事業である。しかしいまままで廃材として、ほとんど顧みられなかつたような新しい商品備置を開発したという事で、全国の森林組合系統の注目する事業となり、業績も年々飛躍的な拡大を続けている。

この除間伐材問題は、今日わが国の林業の大きな課題となつている。森林を育てる為には、除間伐材は欠くことの出来ないものである。しかし除間伐材の利用も少なく、又採算もとれない。ただ切り捨てにしても、費用がかかると言う有様である小径木を、なんとかしようとの問題に、組合が取り組みて、しかも意外に成功して、本格的な小径木加工工場を造つています。

そして、小径木の加工を始めた事により、天龍地域全体の小丸太の価格が上がつたと、言われております。小径木資源を有効に、しかも過疎の歯止めにも役立つ地場産業として、建築製品を造る機械類が整然と設置され、機械化による製材工場経営をと意欲的です。

### (四) 竜山村森林組合長、青山宏氏について

青山さんは、年齢五十才過ぎだと思われの方ですが、青山さんの実践と主張は、竜山村や静岡県内ばかりでなく、全国的に又学界でも、行政の分野でも、大いに注目され、高い評価が与えられている方です。

青山さんは、地場産業観光の村として、生きて行くつもりであると言ふ、ゆるぎない目標の言葉には、実感がこもつていました。

私は森林林業の全般的に見聞を短時間ではありましたが、大変感銘深いものがありました。私の視察で見聞したかぎりでは、

木村でも林業除間伐材の生産技術向上の爲、小径木加工工場の向上と、優良なものが多く生産される事を望みます。

## 清岡 長幸

今度国会議員に対する陳情と先進地視察研修等三泊四日で計画・日程を終了しました。もともと公費出張と言う責任重大なことを自覚しながら毎日を過しました。私は当初から森林組合の理事でもあることから林業を取囲む諸問題に感心を持ち、自分の目で何かを確かめ村の発展に寄与したいと決心して出発致しました。

四月十七日は前日の雨は晴れたものの台風の如き突風が私達の向う天竜川を中心に土煙をあげて吹きまくり最悪の一日でしたが、目的地である静岡県山村は日本一の森林組合であることも知っておりバスの中から、かつては「筏流し」で名高い天竜川を眺めながら上流に向うにつれ水も清く澄み、兩岸の山々には雑木林や除地等もなく杉、桧が濃い緑のジュウタンを敷きつめた如く更に、三十年、三十年程度の植林は、間伐や除伐が行き届いており、よく見かけない地域かと思えました。山の嶺線と山腹には、林道や作業道があり全般的に高率な格差の少ない運営が行なえる諸条件が整って

おり外観的には、さすが日本一の組合かと印象づけられました。

人口は、馬路村より少々多く、

二、三六三人ですが、水田は皆無

で茶畑等若干と言う、実に文字通り

の林業立村であります。組合従

業員は事務職を含め約二〇〇人と

言う大組織であります。事務職

も一般従業員も日給制で、職員と

言う肩書はありません。ボーナス

に至る迄一率三〇％が支給目標で、

その中に大学卒業者が数名採用さ

れておりますが、採用時から植林

の下刈、除伐、間伐、搬出、製材

加工、建築、土木等数年間それぞ

れの部門で作業に従事し、実施力

を高めております。各部門別に班

長制度で班長手当、月五、〇〇円

が支給される外は、共同責任体制

で育苗から建築迄の各部門を通じ

ての一貫した流れ作業行程であつ

て、中間的マージンを、組合利益

に直結させ実に合理的な経営であ

り、更に消費都市名古屋、浜松等

に近接した各種の条件が整ってい

ることはその効果を一層高めてい

ることになります。然しながら

ら作業員等の平均賃金は、馬路村

森林組合より相当低賃金であるに

かかわらず大学卒業、作業員が集

めることは、同組合組織の共同責任

体制という特色にささえられ、実

力の世界を求める若者が林業を通

じ、山村振興を行なわんとする哲

学に立脚し、また強力な組合幹部

の指導の樹立と言えましよう。

このように革命的な施策を実行

に移したことは言うまでもなく、

戦後の林業者が引退期が迫り、そ

の後継者も少なく、更に過疎化の

なだれ現象が起ることを予想した

施策の一端になっていることは、

高く評価できるものの、全員日給

制度の竜山方式については、馬路

村の場合も再検討を要する時期で

はあるものの即実施と言うことは

慎重を要するではないでしょうか。

最後に馬路村は、戦後の植林が

間伐期となっているものの、木材

価格と労働賃金や諸経費等とのバ

ランスがとれない地域の多いこと

が起因して、間伐等の推進が困難

性が生じているものの、林道等の

開設を要望しながらも多額の経費

や、山主の補償等各種の要因があ

るにしても高価な良質材を育てる

時期を失うと将来莫大な損失をま

ねくのは、山主自身であり、道路

等の早急に見透のつかないへき地

は、切捨ててもよい、実行した方

が長期的な利益をもたらす先行投

資的な役割を果たすのではないで

しょうか。

## 尾谷 利晴

村内に新しく製材工場を計画して

いる時期に竜山村森林組合の視察

したことは有意義であった。特に

感銘を受けましたことは組合長青

組合員、従業員等のアイデアを取り入れて、組合員の為になることであれば、いかに困難なことであっても実行することで、たとえ失敗しても組合に課せられた責任であり実行することである。又職員には、これくらい大きな組合になると、組合員から、たのんでくべきでないかと考える職員ができれば、其の時点から組合は崩壊につながるかと戒めている。このような考え方を基にして造林から住宅産業まで実施しており、直営の小径木製材工場も黒字経営で素材の買入れ価格も一㎡当り(十四センチ下も)二万円以上で時価の二、三割高であります。このように高価に買うことの出来るのも製品の一部分が住宅建築用材に使っておることが要因となっておると思えます。十五センチ上の素材は流域の六製材業者で新しく製材工場を造りこの工場と契約して市場価格以上に高価に販売しております。この組合は編物工場と花木造りも行っており、始めの動機は従業員の主婦が浜松市の工場にマイクロバスで通勤の為、朝は主人子供より一時間半も早く晩も同様に一時間半おそくなる。このような状態が長く続けば家庭の崩壊をきたすおそれがあり、年間を通じて働ける者は編物工場へ季節的に働ける者花木栽培を呼びかけ現在編物工場三十名花木は組合はシキビ、村が

一般花木を呼びかけ毎週日曜日に市場を設けて販売する等従業員の円満な家庭づくりまで配慮しております。後継者育成についてはこの組合は心配ないようです従業員は平均年齢三十五才、昨年本年各々十名の新採の内大学卒七〇％で大学卒は特別指導班を編成して造林事業に従事しております(組合長の説明によるとこの班は旧軍隊の幹部候補生とのこと)造林の仕事がいかに苦勞が多いか体験することが山を大切にすることを求める基となることを求めており現在の課題は従業員の生活物資を割安に入手する方法であります。売店を持つことは簡単であります。売店の給与所得の六〇％を確保している当組合が売店を持つことの及ぼす影響は大きく、商工会に大きな打撃を与える為、商工会の立場も考えて両者が立つように交渉中のことでもあります。この視察を機に青山組合長の意志に対して、村民の幸と、村の発展のため努力を誓う次第であります。

## 国広 富香

五四年四月十六日、十九日の日程で視察先へ十六日早朝一台のマイクロバスは日章まで一行十四名を乗せて、センター広場を発車した車内の誰を見ても新調の服装に襟のバッチがズッシリと重く責任の光をはなっていた。

第初日、明治村視察愛知県大山  
市内山一番地起伏した天然林に自  
然を生かし広大な面積を敷き明治  
村が開発されている明治村は我が  
国近代のれい明期である明治時代  
に貴重な建造物や資料を収集管理  
している博物館である。遠くはプ  
ラジル、ハワイまで重要文化財、  
有形文化財の建造物が五十二ヶ所  
も移築されている中でも歩兵第六  
連隊兵舎、前橋監獄雑房、金沢監  
獄中央看守所監房等が大きな格子  
戸や板壁は姿婆恋しさの手油が茶  
褐色に光っているのが胸を打つ明  
治百十年の近代文化の発達した  
現代子が、明治村を見てどう理解  
するだろう私は明治村があつてこ  
そ現代の文化が有すると後世に叫  
びたい尊い歴史を、馬路村が計画  
中の緑の村を連想頭にえがきつ

めた組織づくり初志を貫徹し現在  
を築いた当組合長の信念即組合の  
大黒柱の一部にふれておこう。  
二、平等の精神を持って、竜山森林組  
合という組織の中で働く人は皆、  
対等平等である。三、服装の統一格  
付日給制の採用、組合長以下全従  
業員が同じ服装をする。(仲間増員  
の目標である)造林、伐採、出材  
に限り出来高制と日給制を併用他  
は全て日給制、職員の呼称を廃止  
従業員に改める等々私は馬路村に  
小経木加工場と、土木班の設置が  
急務であると痛感させられた。

### 尾谷 康喜

視察目的が営林署の統廃合等に  
よる過疎対策と地場産業の促進な  
ど馬路村の将来計画の参考とする  
ことにあつた。視察地の長所をど  
のように生かすかがこれからの執  
行部、議会に課せられた責務であ  
り義務でもある。広く村民の英知  
と協力を求めて豊かな住みよい村  
づくりには尽さなければならぬ。

竜山村森林組合の事業部門は、造  
林班、伐採班、出伐班、輸送班、  
土木班、小経木加工場、編物工場、  
造園、花木(シキビ)建築加工場、  
建築(大工)営業施行設計、十二  
部門従業員二一〇名(平均年齢三  
十五才、五三年度短大、大学生十  
名雇用)を有する「苗木から住宅  
まで」という林業の原点から最終  
段階までの一貫事業となり、事業  
経営は、林業の垂直的な組織化が  
成功し、日本一の森林組合である  
(勿論馬路森林組合も日本一であ  
る)昭和三十六年わずかず五人で始

竜山村 六五三百万円 53年度  
村税収入一五五百万円 決算額  
民有林面積 五、一七三ヘクタール

民有林面積 一、二三〇ヘクタール  
馬路村 六八二百万円  
村税収入一四百万円  
民有林面積 四、一〇〇ヘクタール  
国有林面積一三、〇〇〇ヘクタール

本年度から営林署の統廃合の条  
件のひとつとしての農林水産省の  
新しい制度の「緑の村」事業の指  
定も決定されている。この事業は  
三ヶ年で事業費三億円が見込まれ  
ている。この制度により観光環境  
整備やその他の基盤整備をするこ  
とによって、住民の所得の向上と  
福祉の増進に直結してゆくべきで  
ある。構造不況業種といわれてい  
た林業についても好転のきざしが  
見えてきている。村民と共に創意  
工夫して可能性を検討の上前向き  
で選択し、行政は行政として担う  
べき役割と指導のあり方、そして  
農協、森林組合、その他の村内企  
業は企業としてやってゆかなけれ  
ばならない整合性を保つならば、  
竜山村に負けない個性豊かな馬路  
村となり、そうしなければならぬ。

三月議会で計画していた視察研  
修を四月十六日から三泊四日の日

### 岡野 利幸

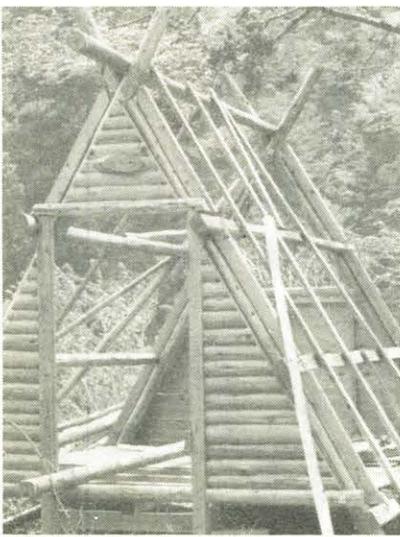
程で行われ、私も議員の一人とし  
て加えていただき同僚議員と共に  
目的に添って勉強をして来ました  
もとより未熟者の私ですので、単  
なる観光旅行とならないように心  
掛けて参加しました。

十六日 愛知県の明治村視察  
多額の資金を投入し、かつ面積  
も広く、又観光地としての条件等  
も都会的であつて他の知られた観  
光地と一見それ程の違いはない、  
ただ歴史的な意味を持たせたとこ  
ろの発想はおもしろいと感じた。  
既設の観光地のイメージはまった  
くと違ってよい程ないことと、独  
自性に富んでいるところは今後村  
観光開発の上で参考にしたい。

十七日静岡県磐田郡竜山村森林  
組合視察。天竜下ればヨ一と歌に  
出て来る天竜川を上ること約一時  
間、四方を山に囲まれた静かな山  
村である。この竜山村の人々も林  
業に生活の糧を求めて来たことか

ら林業の歴史は古く、植林等にし  
ても速く元禄時代にさかのぼると  
いうことであり、まさに林業の先  
進地といえそうである。こんな村  
にも昭和四十年代に入つての高度  
経済成長は大きく影響したらし、  
若者を中心に村を出て行くものが  
あとを断たず、過疎化現象は大都  
会に近いだけに馬路村のそれとは  
比較にならないほど激しいもので  
あつたようだ。私たちが視察に行  
つた時点では、過疎にも歯止めが  
かかり、林業を主体にした各種の  
地場産業にも発展の道がひらけた  
との話であつた。林業はだめだ、  
農業はだめだと、とかく敬遠され  
がちな山村にあつて、過疎対策が  
進んで人口の流出現象がなくなり、  
地場産業、特に林業経営も軌道に  
乗せることが出来たという言葉を  
竜山村森林組合長から聞いたこと  
が、私たちの今回の視察研修で一  
番の成果であつたと思う。

竜山村森林組合の  
キャンプハウス(関連第10ページ)



# 竜山村森林組合の概要

## 施設資本整備の内容

林業機械	11セット	建	事務所	1棟225㎡
集材機	14台		倉庫及車庫	6棟532㎡
チェーンソー	32台		加工場	2棟
刈払機その他	55台	物	移動宿泊施設	1棟20㎡
車	7台	土	ブルドーザー	2台
	1台	木	コンプレッサ	2台
	2台	機	ダンプトラック	3台
輻	7台	械	その他附属機械	1式
森組所有山林	3ヶ所10.3ha		林道及作業道	11路線24987m

竜山村森林組合
地区内森林面積 6.503ha
内訳 民有林 5.173ha (人工林率93%) 国有林 1.330ha ( " 98%)
組合員数 819名
(正組合員 741名 準組合員78名)
出資金50,977千円 (払込済48,536千円)
役員 理事11名(内常勤1名) 監事3名 職員21名

### 従業員労働条件

- 退職金制度 S 38, 6.
- 労務共済制度 S 41, 4.
- 農林年金適用 S 43, 4.
- 健康保険加入 S 49, 7.
- 労災保険完全適用
- 精動手当制度 S 48, 6.
- 雇用保険完全適用 S 51, 4.
- 被服貸与ジヤパンパー上下
- 各種研修費負担
- 従業員大会実施年1回
- 定期健康診断実施年1回
- 班長管理職手当支給
- 器材器具購入費補助 4割
- 有給手当制度 S 52, 6.

# 業 業 現 状 概 要

営業施行設計	建築(大工)班	建築加工場	花	木	造	園	編	物	工	場	小	径	木	加	工	場	土	木	班	輪	送	班	出	材	班	伐	材	班	造	林	班				
月産2.8棟	従業員16名	従業員5名	(シキミ)	81,200本	造園木育成	園	30名	30名	19名	2班8名	1班7名	4班26名	4班24名	4班24名	5班45名																				
平均30坪	年間所得 30,000千円	年間所得 6,300千円	3,230千円	3,230千円	販売	年間作業量 133,531千円 (1,335,314足)	年間作業量 30名	年間作業量 19名	年間作業量 2班8名	年間作業量 1班7名	年間作業量 4班26名	年間作業量 4班24名	年間作業量 4班24名	年間作業量 5班45名																					
坪当り 250千円	年間人工 3,800人工	年間人工 1,400人工	縫裁内職	47,500枚		133,531千円 (1,335,314足)	年間作業量 30名	年間作業量 19名	年間作業量 2班8名	年間作業量 1班7名	年間作業量 4班26名	年間作業量 4班24名	年間作業量 4班24名	年間作業量 5班45名																					
250,000千円	使用木材量 780㎡	加工賃 300㎡	1,250千円			年間作業量 133,531千円 (1,335,314足)	年間作業量 30名	年間作業量 19名	年間作業量 2班8名	年間作業量 1班7名	年間作業量 4班26名	年間作業量 4班24名	年間作業量 4班24名	年間作業量 5班45名																					
	年間加工量 4,000千円	年間加工量 300㎡				年間作業量 133,531千円 (1,335,314足)	年間作業量 30名	年間作業量 19名	年間作業量 2班8名	年間作業量 1班7名	年間作業量 4班26名	年間作業量 4班24名	年間作業量 4班24名	年間作業量 5班45名																					
	年間製材量 870㎡	年間製材量 300㎡				年間作業量 133,531千円 (1,335,314足)	年間作業量 30名	年間作業量 19名	年間作業量 2班8名	年間作業量 1班7名	年間作業量 4班26名	年間作業量 4班24名	年間作業量 4班24名	年間作業量 5班45名																					
	坪当り平均 人工5.5 人工	製材賃 4,000千円				年間作業量 133,531千円 (1,335,314足)	年間作業量 30名	年間作業量 19名	年間作業量 2班8名	年間作業量 1班7名	年間作業量 4班26名	年間作業量 4班24名	年間作業量 4班24名	年間作業量 5班45名																					

系統企業 ムツミ製材協同組合 (S 42・5, 設立)

天竜材住宅産業協同組合 (S 48, 9, 設立) 理事長 青山 宏

天竜材住宅販売株式会社 (S 48, 11, 設立) 社長 青山 宏

KK F a n d F (県森連が設立)